

小野協会主催大会でのユニフォームの規定について

1. ユニフォームパンツの規定とパンツ下のタイツ等について

2015年4月1日に施行される「2015～バスケットボール競技規則」の改正点のうち、ユニフォーム（パンツの長さ）に関するルール改正について、移行措置として次のとおりとします。

該当規定：「2015～バスケットボール競技規則」第4条.3 ユニフォーム（4.3.1）「ユニフォーム規程」3.パンツ（3.1.3） パンツの長さはひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない。

2015年4月以降に新しくユニフォームを製作・購入する際は、上記規則に準じたユニフォームであること

市民大会、リーグ戦で「ユニフォームパンツと同色のロングタイツ、アンダーガーメントなど」を履くことができます。ユニフォームからはみ出ないものは、何色でも可とする。ユニフォームパンツからはみ出るものは、ユニフォームの主色と同色、又は「黒」とすること。

【例】白ユニで黒のタイツは可

【例】黒ユニで白タイツは不可

【例】赤ユニで迷彩柄タイツは不可

下半身のサポーター（レッグスリーブなど）もユニフォームパンツの主色と同色、又は黒とする。関係の無い色、又は柄物は不可とします。

靴下はユニフォームパンツと同色じゃなくても良い

2. ユニホームシャツの下のインナーシャツ等について

市民大会、リーグ戦で「ユニフォームシャツと同系色のインナーシャツ（ロングTシャツ、半袖TシャツもOK）」を着ることができます。

同系色インナーシャツとは、例えば水色のユニフォームなら濃淡に関わらず水色系のインナーならOKとします。オレンジのユニフォームもオレンジ系のものだとOK。その際はチーム内の選手全員が同じ色（ロングTシャツ、半袖Tシャツの混合はOK）を着用すること。白いユニフォームは白のみをOKとします。柄物の袖やユニフォームの主色と無関係の色がはみ出る状態は不可とします。

上半身のサポーターは、通常のサポーターを含め、シューティングサポーターなどはユニフォームシャツの主色と同色、又は黒とする。ユニフォームと関係の無い色、又は柄物は不可とします。

小野協会主催大会でゲームオブザーバーの役割について

2016年5月開催のクラブ大会より、各チームから「ゲームオブザーバー」として本部所定の席に常駐し運営の補助をしていただくことを、試験的に導入させていただきます。

担当割り当てのチーム理事、又はチーム代表者はオブザーバーとして以下の責任を有するものとします。

1. ゲームが安全に進行しているか、審判・オフィシャルは機能しているか確認する。ゲーム中にトラブルが生じ審判のみで解決できない時は、中立的立場よりの確な判断を行い、トラブルの解決に努めること。万が一解決が困難と判断した場合は、速やかに本部理事に報告し、共に解決の努力をすること。
2. 試合中に次ゲームのメンバー表の収集、オフィシャルシートの準備を行う
3. 審判、オフィシャルが予定されているチームが開始時間前に準備できているか確認。遅れている場合は場内アナウンスで呼びかけを行う
4. 参加各チームからの、大会進行等に関する問い合わせの対応を行う。
5. ゲーム終了から、次ゲームの開始までを不備なく速やかに移行できるよう努める。

